

平成 23 年度公益社団法人第 2 回理事会議事録

公益社団法人日本地球惑星科学連合

1. 開催日時 平成 24 年 1 月 23 日 (月)
午後 3 時 00 分から午後 5 時 20 分
2. 開始場所 東京大学理学部 1 号館 843 号室
(東京都文京区本郷 7-3-1)
3. 出席者 理事数 19 名
出席理事 15 名 (定足数 10 名 会議成立)
出席監事 1 名
オブザーバー 8 名
4. 議長 理事 木村 学
5. 出席役員 理事 木村 学
理事 津田 敏隆
理事 濱野 洋三
理事 松本 淳
理事 ウォリス サイモン
理事 田近 英一
理事 中村 正人
理事 佐藤 薫
理事 小口 高
理事 西 弘嗣
理事 川幡 穂高
理事 大谷 栄治
理事 富樫 茂子
理事 古村 孝志
理事 畠山 正恒
監事 鈴木 善和
6. 出席オブザーバー
宇宙惑星科学セクションプレジデント 永原 裕子
総務委員会副委員長 吉田 武義
男女共同参画委員会副委員長 坂野井 健

大会運営委員会副委員長	岩上 直幹
大会運営委員会副委員長	北 和之
大会運営委員会・プログラム局局长	中本 泰史
大会運営委員会・プログラム局副局長	村山 康啓
国際学術委員会委員長代理	加藤 照之

午後 3 時 00 分、理事の定数に足る出席があったので、会長木村学は議長席に着き、開会を宣し、議事に入った。

7. 報告事項

(1) 情勢について

中村理事より JAXA 法について、佐藤理事より東大プレスリリースの 9 月入学について、木村会長より AOGS, AGU との関係及びスギ花粉調査のプレスリリースについて、古村理事より東日本大震災関連の最近の対応、西理事より同震災に関する研究についてそれぞれ説明があった。

(2) 2012 年大会準備報告（日程確認、学生発表賞、展示企画申込状況、投稿状況）

（資料 P1-5）

谷上事務局長より本日現在 55 件であり、まだ投稿の呼びかけをしていないこともあるがあまりよくないこと、団体展示も申込にまだ相当余裕があるので皆さんで呼びかけをしてもらいたい旨説明があった。

中本プログラム局長より、今年度は「ポスター」と「口頭もしくはポスター」という選択にし、ポスター発表を重視していく為、ポスター会場の魅力アップの方法として「いいね」というシールを貼る、コメントを残す紙を置くなどの方法を今後事務局と相談して検討中であることが説明された。スペシャルレクチャーに関しては高橋理事に呼びかけを始めてくれるよう、事務局より連絡をすることになった。金環食が連合大会中に重なる為、宇宙惑星セクションからは太陽の関係のレクチャーを依頼してくれる旨、永原セクションプレジデントより話があった。

(3) 義捐金関連報告（資料 P6-10）

畠山理事より現在各学校の実情を個別に調査中であり、出来るところから支援を始めている旨説明があった。現在集まっている義捐金を大幅に上回る支援要請が来ている為、連合大会を含め、再度義捐金を募る予定もたてていくことになった。

(4) 国際学術関連報告（AOGS2014）関連（資料 P11）

加藤国際学術委員長代理より 2014 年度 AOGS を日本で開催することに関して説明があった。2013 年大会招致ではオーストラリアのブリスベンに僅差で敗れてしまったが、AOGS 側から日本でやりたいと思っている旨アプローチがあった。北海道大学と札幌市が中心となり招致する話がほぼ決まっている状況である。AOGS 側としては資金協力は求めないが、連合に

表にたってやってもらいたいと思っている。共催なのか後援なのかなど、まだ検討課題は多くあるが、連合としては基本的には前向きに支援していく旨確認された。今後佐竹次期 AGOS プレジデントなどにも話を聞いて、具体化していく。

西財務委員長より、資金援助は必要ないとはいっても、とりあえず 100 万円ほど予算を計上しておく必要があることが説明され、加藤国際学術委員長代理が次年度の予算に計上することになった。

8. 審議事項

第 1 号議案 一般社団法人第 4 期（平成 23 年 12 月末）決算について（別冊資料）

西財務委員長より決算報告がされ、遅滞なく保管する旨連絡があった。

消費税は 1 月 31 日に払うことになっている。収入が約 7900 万円で 11 月 30 日までの支出が約 6100 万円で決算額としては約 1800 万円程度の黒字となっている。1000 万円程度の余剰資金があり、ジャーナルとしてとってあった予算 700 万円がそのままのこっているの見掛け上は黒字になっているという状況である。来年度の事業費として使うということで基金にはしない方針である。というわけで単発の事業は 3 月末までにやってほしいと要請があった。以上説明があったうえで決算は満場一致で可決され 5 月の社員総会で承認されることになった。2012 年度の予算は約 8000 万円上がってきているが、削るべきところは削り、3 月の理事会で予算承認をすることになった。浜野理事よりオリンピックを事業として予算を計上したい旨西理事に要請があった。

第 2 号議案 日立環境財団との連携について（資料 P13）

田近理事より、環境サイエンスカフェに連合が協力することから 2011 年度から始めたものであり、講師の派遣を連合が協力することで連合が関係していることを公開しており、金銭の授受はない旨説明があった。今後覚書を締結し、連携していくことには満場一致で可決された。

第 3 号議案 AGU と MOU の締結について（資料 P12）

ウォリス理事より昨年末の AGU で MOU 締結に関して話し合いが持たれ、ひな形が AGU より届いた旨説明があった。細かい記載の間違いや内容に交渉の余地はあるが、基本的には締結に向けて前向きに前進していくことが満場一致で可決された。MOU の内容に関しては加藤国際学術委員長代理とウォリス理事で推敲し、AGU サイドと交渉し、再度 3 月の理事会に諮ることになった。

第 4 号議案 連合大会での学生発表賞について

岩森理事に代わって谷上事務局長より説明があった。エントリー制であり、研究のみでなく個人の能力を見る、という基本方針を確認し、それ以外の部分は各セクションに自由度を持ってやっていただくという方針が確認された。現在のシステムでは宇宙惑星にもエントリーできるような印象を受けるので、システム上ボタンを一つ増やし、4 セクションにのみエントリーできるように、わかりやすくすることになった。審査基準が連合の方針に合っているか、公平性が保てるかなど問題は残るが、2012 年大会が終わった時点で各セクシ

ョンよりフィードバックしてもらい来年度に生かしていくことになった。

第5号議案 ジャーナル関連の方針の検討について（別冊資料）

12月27日の文科省での会議に出席した川幡理事より会議内容について報告があった。

フリーアクセスの e-journal に対し、文科省が援助をしたいとのことなので、連合としては各関連学協会に早い段階で説明する場を設け、相談しながら積極的に申請していくことになった。自立できるような体制を考える必要がある、検討チームをセットアップするなどの案が出され、川幡理事を中心に「科研費成果公開促進費対応臨時委員会」を設置することになった。2月中をめどに、各学協会に説明する機会を早い段階で設定することが確認された。

第6号議案 法人化後の日程確認、11月末決算書案・事業報告書案（資料 P60-77）

西理事より収支の結果、余剰金が出る予定なので必要な経費があれば2月末までに計上するよう、要請があった。今後のジャーナルの方針を見極めながら3月26日までに財務委員会で24年度予算を作成、総務委員会で24年度事業計画を作成することが確認された。12月の決算では会計監査はいらないことも確認された。

第6号議案 役員候補者推薦委員会について（資料 P14-17）

前理事会にて承認された規則の変更について鈴木弁護士より説明がされ、改正履歴を載せることが確認された。推薦委員会メンバーは木村会長、浜野副会長、津田副会長、大谷副会長、大村理事、中島セクションプレジデント、氷見山セクションプレジデント、田近理事、畠山理事に依頼することが満場一致で可決された。第1回役員候補者推薦委員会は3月に開催される予定である。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（午後5時20分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席議事は次に記名・押印する。（捺印欄配布時省略）

平成24年1月23日

一般社団法人日本地球惑星科学連合 公益社団法人 第2回理事会

出席理事 木村 学 印

出席理事 津田 敏隆 印

出席理事 濱野 洋三 印

出席理事 松本 淳 印

出席理事 ウォリス サイモン 印

出席理事	田近	英一	印
出席理事	中村	正人	印
出席理事	佐藤	薫	印
出席理事	小口	高	印
出席理事	西	弘嗣	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	大谷	栄治	印
出席理事	富樫	茂子	印
出席理事	古村	孝志	印
出席理事	畠山	正恒	印